

「平成 30 年 戊戌（ぼ・じゅつ）（つちのえ・いぬ）」

今月は、「師走・年末・初冬・歳末・歳晩・初雪・新雪・寒冷・霜寒」色んな読み方があるだけでも慌ただしい師走となりました。

「師走」の「師」とは、お坊さん・教師・御師等のことを指しているようですが何と言っても、一年の終わりと正月が控えて何となく気忙しく酉年も気持ちは既に戌走りしているかも知れません。

今年の干支「丁酉（ていゆう）」は、一言で「困難を打破」、来年は「戊戌（ぼ・じゅつ）」植木で言うなら見通しよく剪定することのようです。

どなたでもいつでも歓迎の千葉木鶏クラブです。

皆様のお越しをお待ちしています。

記

1. 日 時 : 平成 29 年 12 月 18 日 (月)
PM 16 時 00 分 ~ 18 時 00 分
2. 場 所 : 千葉市生涯学習センター 小会議室 (3 F)
電話 : 043-207-5811
＜交通案内＞ JR 千葉駅東口から徒歩 8 分
3. 会 費 : 1000 円
4. 内 容 :

＜十干＞

甲（こう）・乙（おつ）・丙（へい）・丁（てい）・戊（ぼ）
己（き）・庚（こう）・辛（しん）・壬（じん）・癸（き）

＜十二支＞

子（ね）・丑（うし）・寅（とら）・卯（う）・辰（たつ）
巳（み）午（うま）・未（ひつじ）・申（さる）・酉（とり）
戌（いぬ）・亥（い）

平成30年 干支

平成30年 干支は戊戌（ぼ・じゅつ、つちのえ・いぬ）という。
所謂、いぬ年。

十干の戊は「しげる」とか「さかん」という意味、悪くすると生気を失って枯れることになる。

又、十二支の戌は草木が繁茂、老熟している月であります。

繁茂成熟した樹々は日当たり悪く風通しもよくないので所謂木も衰を起こします。
懐が蒸れ、虫がついて梢止まりを起こし根上がりし、やがて梢枯れとなります。

これを防ぐには戌削（不要な枝と払う）が必要に成ります。

即ち本年は人間社会が今日まで技術の進歩経済の成長を求めてまっしぐらに突き進んで来ましたがその進捗成長の為に何時しか自己本位な行動を起こす様になってきました。

その為、世界全体が鬱蒼とした茂みの中でどの様に動けばよいか。迷走せざるを得ない年であることを示しています。

国際的な政治経済においては、自由主義国家群の中にも自己中心主義が横溢（おうほん）し地球温暖化防止の為に衆知を集めた国際協定である。パリ協定も米国の脱退で大きな一歩を踏み出すのに中東半端なものになりかねない状況であります。

また、イスラム圏でもISを始めとするイスラム過激派組織が中東地域はもとより西欧にまでテロ行為を仕掛け人々の不安を駆り立てています。

そして、日本の隣国でもある北朝鮮は大多数の国々が反対しているにもかかわらず再三にわたりミサイル実験、核実験を行っていますがこのように昨今世界各国で起こっているこれらの事象は全く予測のつかない中での事件であります。

その様に見てまいりますと今年は尚一層、樹木の生い茂った森の中に迷い込んだ様な困難が立ち塞がるだろうと予想されます。

そこで必要なことは植木屋が生い茂った樹木の枝葉を剪定し風通しや日当たりをよくするように人間社会にもっと風通しのよい関係を国家間はもとより多くの分野においても築く必要があります。

人間社会の風通しとはお互いの信頼関係を高めコミュニケーションを深めることであります。

そこで重要な働きをするのかそうして動きに長けた和の国、日本であり日本人であります。

昨年、私達関西師友協会では丁酉の年を乗り切る為に和の精神、利他の精神の必要性を提唱しました。今年の戊戌の年も日本人が築いてきた「和の精神」を少しでも世界中に広めてゆくことがこの一年を乗り切る最良の手段であります。

安岡正篤先生が著された『大和』に人間その愚かなるもの不和とういう文がありますが見通しの悪い時こそ手を 和の精神が大変重要であることをお互いの心に強くトドメ行動したいものです。

関西師友協会より